



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月30日

上場会社名 セフテック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7464 URL http://www.saftec.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡崎 勇  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 佐藤 雄考 TEL 03-3811-3188  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,218	13.1	312	63.4	299	68.2	173	92.3
29年3月期第3四半期	6,384	4.8	191	20.0	177	18.9	90	70.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 198百万円 (43.8%) 29年3月期第3四半期 138百万円 (139.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	362.84	—
29年3月期第3四半期	182.32	—

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,246	4,281	41.8
29年3月期	9,578	4,169	43.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,281百万円 29年3月期 4,169百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	160.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※1. 平成29年3月期の期末配当金には、創業60周年記念配当2円を含んでおります。

※2. 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は16円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,573	11.0	582	32.1	562	33.3	365	34.9	762.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	500,000株	29年3月期	500,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	21,135株	29年3月期	20,940株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	478,982株	29年3月期3Q	495,795株

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等に将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想にご利用に当たって注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び業績予想について）

当社は、平成29年6月29日開催の第60期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で株式併合を行っております。合わせて、同日付で単元株式数の変更（1,000株から100株への変更）を実施しております。これに伴い、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- (1) 平成30年3月期の配当予想
  - 1株当たり配当金（期末） 16円00銭
- (2) 平成30年3月期の連結業績予想
  - 1株当たり当期純利益（期末） 76円21銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に回復基調が続き、個人消費も持ち直しの傾向が見え始め、海外情勢の不安定さはあるものの良好に推移いたしました。

当社グループが関連する工事用保安用品業界におきましては、公共工事は横ばいの状況ではありますが、底堅い動きが続いております。また、大規模更新工事や震災関連工事も継続しており市場は良好に推移いたしました。一方で、人手不足による労務費の上昇、建設資材の高騰等の懸念材料も続いております。

この様な状況下、営業体制の見直し、高付加価値商品の回転率の強化やレンタル在庫の効率的な配置の徹底を行い、また、顧客ニーズを取り入れた商品の開発、仕入価格の低減や経費の抑制に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高7,218百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益312百万円（前年同期比63.4%増）、経常利益299百万円（前年同期比68.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益173百万円（前年同期比92.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して668百万円増加し10,246百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加304百万円、商品及び製品の増加119百万円、建物及び構築物の減少47百万円、レンタル資産の増加86百万円、リース資産の増加129百万円、繰延税金資産の増加49百万円によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して557百万円増加し5,965百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加137百万円、リース債務の増加130百万円、退職給付に係る負債の増加245百万円であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末と比較して111百万円増加し4,281百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益173百万円、配当金の支払86百万円、その他有価証券評価差額金の増加24百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成30年1月30日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,547,697	2,505,697
受取手形及び売掛金	2,391,693	2,696,361
商品及び製品	905,736	1,025,372
原材料	184,438	191,913
繰延税金資産	54,952	38,109
その他	42,533	45,982
貸倒引当金	△5,800	△5,500
流動資産合計	6,121,251	6,497,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	840,186	792,887
レンタル資産(純額)	274,970	361,801
土地	1,573,326	1,573,326
リース資産(純額)	380,782	510,444
建設仮勘定	—	12,800
その他(純額)	24,083	37,013
有形固定資産合計	3,093,350	3,288,273
無形固定資産	31,741	29,555
投資その他の資産		
投資有価証券	204,569	237,789
繰延税金資産	16,161	82,744
その他	116,764	115,972
貸倒引当金	△5,751	△5,583
投資その他の資産合計	331,744	430,923
固定資産合計	3,456,836	3,748,751
資産合計	9,578,088	10,246,688

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,054,775	1,192,504
短期借入金	1,651,000	1,735,000
1年内返済予定の長期借入金	336,600	602,600
リース債務	120,926	166,417
未払法人税等	104,905	126,690
賞与引当金	80,321	42,568
その他	242,475	295,464
流動負債合計	3,591,003	4,161,245
固定負債		
長期借入金	1,314,700	971,750
リース債務	263,001	347,824
長期未払金	65,600	65,600
再評価に係る繰延税金負債	95,216	95,216
退職給付に係る負債	77,589	322,599
その他	1,235	1,235
固定負債合計	1,817,343	1,804,225
負債合計	5,408,347	5,965,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	886,000	886,000
資本剰余金	968,090	968,090
利益剰余金	3,552,370	3,639,931
自己株式	△75,920	△76,968
株主資本合計	5,330,540	5,417,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91,890	116,855
土地再評価差額金	△1,252,689	△1,252,689
その他の包括利益累計額合計	△1,160,799	△1,135,834
純資産合計	4,169,740	4,281,217
負債純資産合計	9,578,088	10,246,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,384,756	7,218,801
売上原価	3,586,348	3,888,792
売上総利益	2,798,407	3,330,009
販売費及び一般管理費	2,607,040	3,017,339
営業利益	191,367	312,669
営業外収益		
受取利息	244	118
受取配当金	5,011	5,036
その他	8,171	9,516
営業外収益合計	13,427	14,671
営業外費用		
支払利息	23,924	23,415
その他	2,875	4,564
営業外費用合計	26,800	27,980
経常利益	177,994	299,361
特別利益		
固定資産売却益	—	5,868
投資有価証券売却益	—	896
特別利益合計	—	6,765
特別損失		
固定資産除却損	—	2,529
特別損失合計	—	2,529
税金等調整前四半期純利益	177,994	303,596
法人税、住民税及び事業税	73,015	187,955
法人税等調整額	14,584	△58,149
法人税等合計	87,599	129,805
四半期純利益	90,395	173,791
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,395	173,791

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	90,395	173,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,817	24,964
その他の包括利益合計	47,817	24,964
四半期包括利益	138,212	198,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,212	198,756
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職給付債務の計算方法の変更)

当社は、当第3四半期連結会計期間末より、退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更は、従業員数が300人を超えることが常態化したことに伴い、原則法により高い信頼性をもって退職給付債務を見積り、適切な引当金の計上及び期間損益の適正化を図ることを目的としたものであります。

この結果、従来の方法によった場合と比べ当第3四半期連結会計期間末の退職給付に係る負債が241,703千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額減少しております。